

# 『キルギス日本語教育研究』執筆要領

キルギス共和国日本語教師会紀要編集委員会

## ◆和文・ロシア語文論文共通事項

- ・用紙は、原則 A4 判縦置き、横書きとする。ただし、和文論文で表記上特に必要な場合は、A4 判横置き、縦書きとすることができる。余白、上と下 25 ミリ、右と左 15 ミリ。
- ・原稿には、題名・著者名（和文及びロシア語文）・日本語 250 字程度もしくはロシア語 200 語程度の要約、3 語以上 5 語以内のキーワード（和文またはロシア語文）を記載する。
- ・日本語要約とロシア語要約をつける。原則 20000 字以内（題名、筆者名、所属、図表、参考文献含む）、図・表・写真は出典を明記して原稿に添付する。
- ・原稿第 1 ページ目に、著者の所属を和文もしくはロシア語文で書く。この場合、大学教員は大学名、大学の非常勤講師は主な勤務大学名、学部生・大学院生は学部・研究科名、学校教諭等は学校名等を書く。

### 【記載例】

- ・学生の場合

ビシケク人文大学大学院生（修士課程）

(Студент-магистрант Бишкекского гуманитарного университета им. К. Карасаева)

- ・教員の場合

キルギス国立総合大学

(Киргизский национальный университет им. Ж. Баласагына)

## ◆論文の体裁

- ・和文論文

書体は、明朝体 11 ポイントを標準とする。

論文は、本文・要約ともにネイティブチェックを経ること。

本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を 1 コマ空ける。

文献は、論文末尾にアルファベット順に記載する。また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は「カンマ [,]」でつなぐ。

- ・ロシア語文論文

書体は、Times 11 ポイントを標準とする。

論文は、本文・要約ともにネイティブチェックを経ること。文献は、論文末尾にアルファベット順に記載する。

また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は、カンマ [,] でつなぐ。

## ◆参考文献の書き方

### ・雑誌論文の場合

著者名（発行年）「論文表題」『掲載雑誌名』巻（号），該当ページ

### ・欧文雑誌の場合

著者名（発行年）論文表題，掲載雑誌名，巻（号），該当ページ

#### 【記載例】

山田太郎（2016）「キルギスにおける日本語教育」『ビシケク人文大学東洋国際関係学部紀要』5，pp. 38-39

Mederbekova, J. (2016) Japanese Language Education. *Journal of Japanese Language*, Vol. 16, pp. 58-59

### ・著書の場合

著者名（発行年）「論文表題」『書名』，該当ページ，出版社・発行所名

著者名（発行年）「論文表題」 編者名編『書名』，該当ページ，出版社名  
《欧文著書の場合》

著者名（発行年）論文表題．編者名（ed.），書名，該当ページ，出版社名

#### 【記載例】

山田太郎（2016）『基礎キルギス語文法』，pp. 22-23，ビシケク書房

Mederbekova, J. (2016) The current state and issues of Japanese language education in Kyrgyz Republic, Usenbaeva, C. & Sultanalieva, A. (eds.), *Japanese Language*, pp. 34-35, Bishkek Humanities University Press

## ◆図，表，写真図版等

図，表，写真図版等は，本文中の該当箇所の刷り上がりをイメージした位置に，鮮明に識別できる大きさで，以下の様式により挿入する。

図（写真図版を含む）は，図 1 (Fig. 1/Рисунок 1) ， 図 2 (Fig. 2/Рисунок 2) ， …， のように，表は，表 1 (Table 1/Таблица 1) ， 表 2 (Table 2/Таблица 2) ， …のように通し番号をつける。

図の番号及び見出しは，図の下に記入し，表の番号及び見出しは，表の上に記入する。

## ◆インターネット上の資料

資料題名，サイト名 URL (資料にアクセスした日)

(2016年9月策定)

(2018年9月策定)